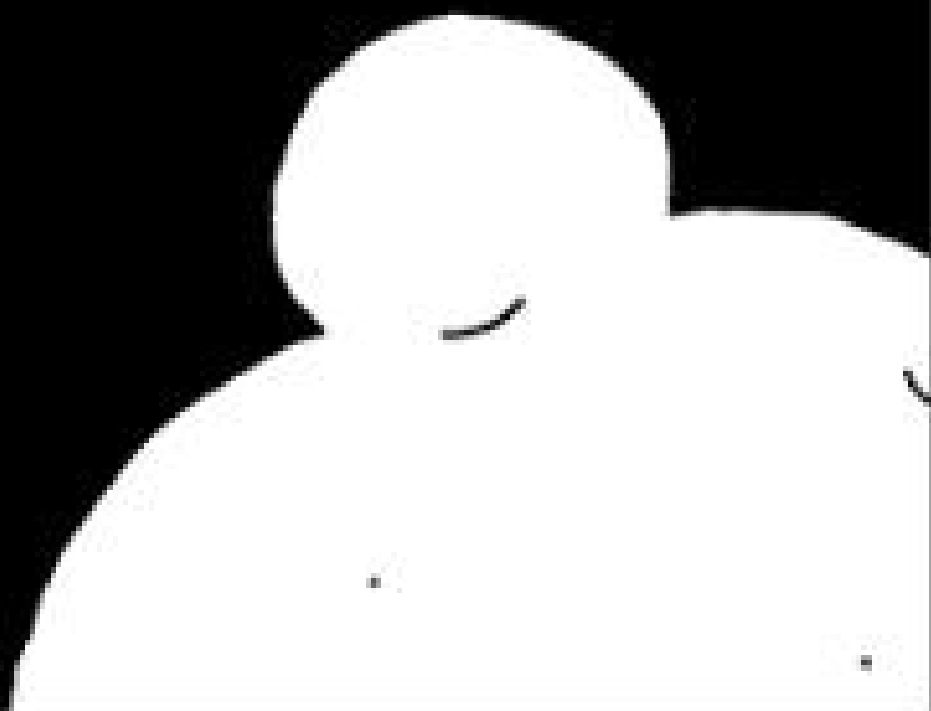




チューー星人の襲来

森元暢之



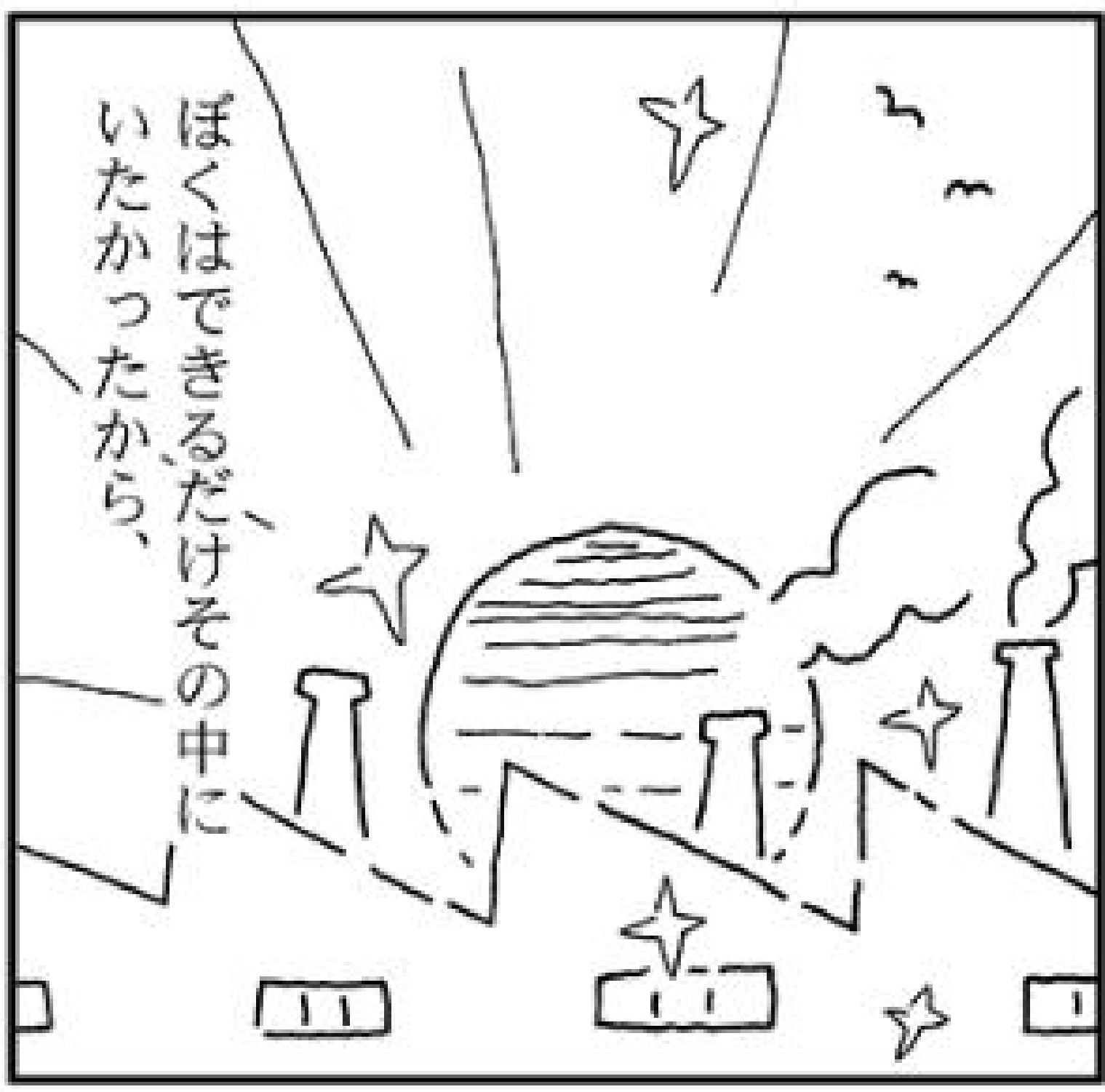
バイトのかえりはいつもの
アスファルトの道だったけれど、





その日の夕空は金色に燃えていて

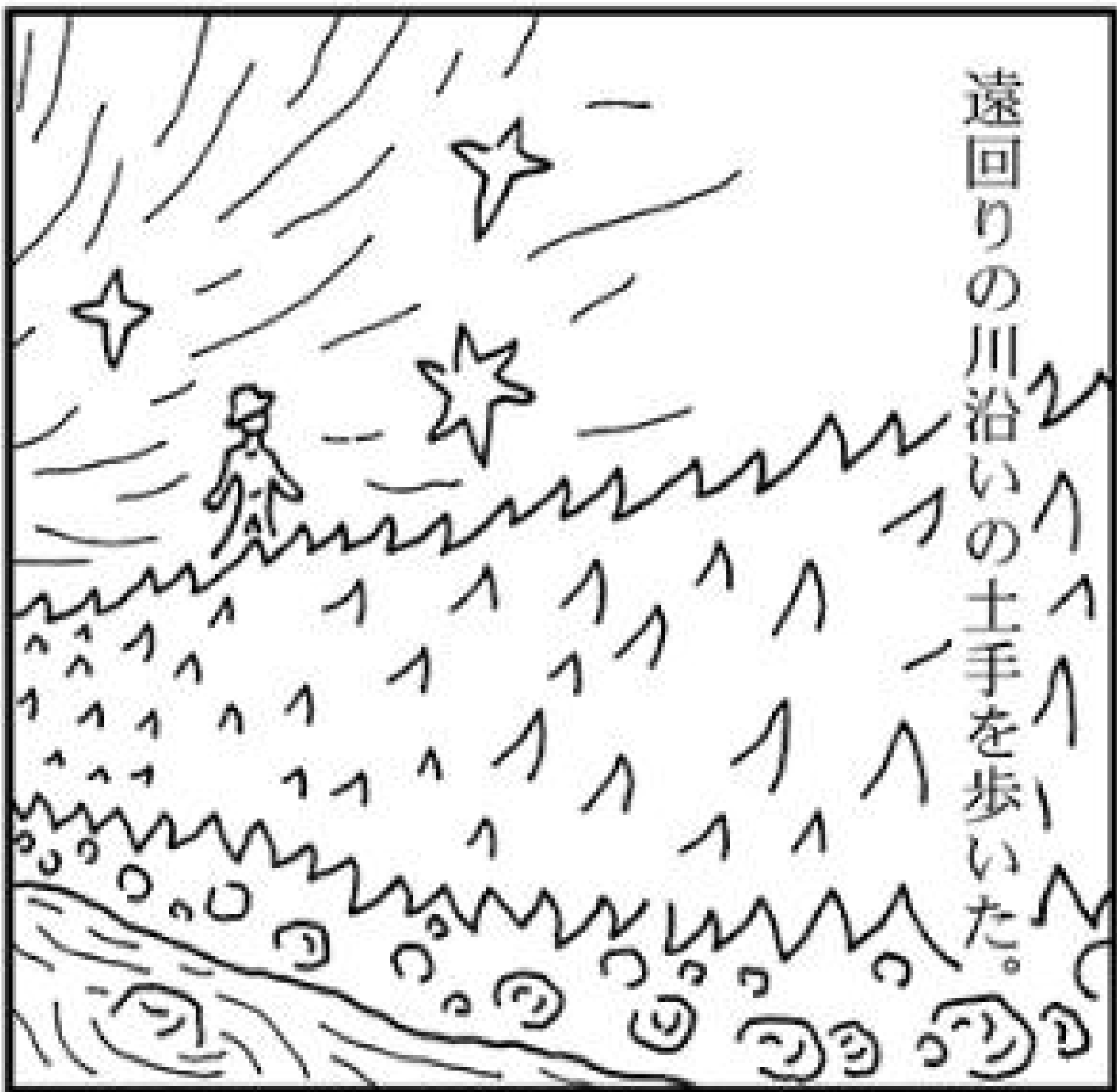
ぼくは、おきなさんちの井戸
いたかったから、



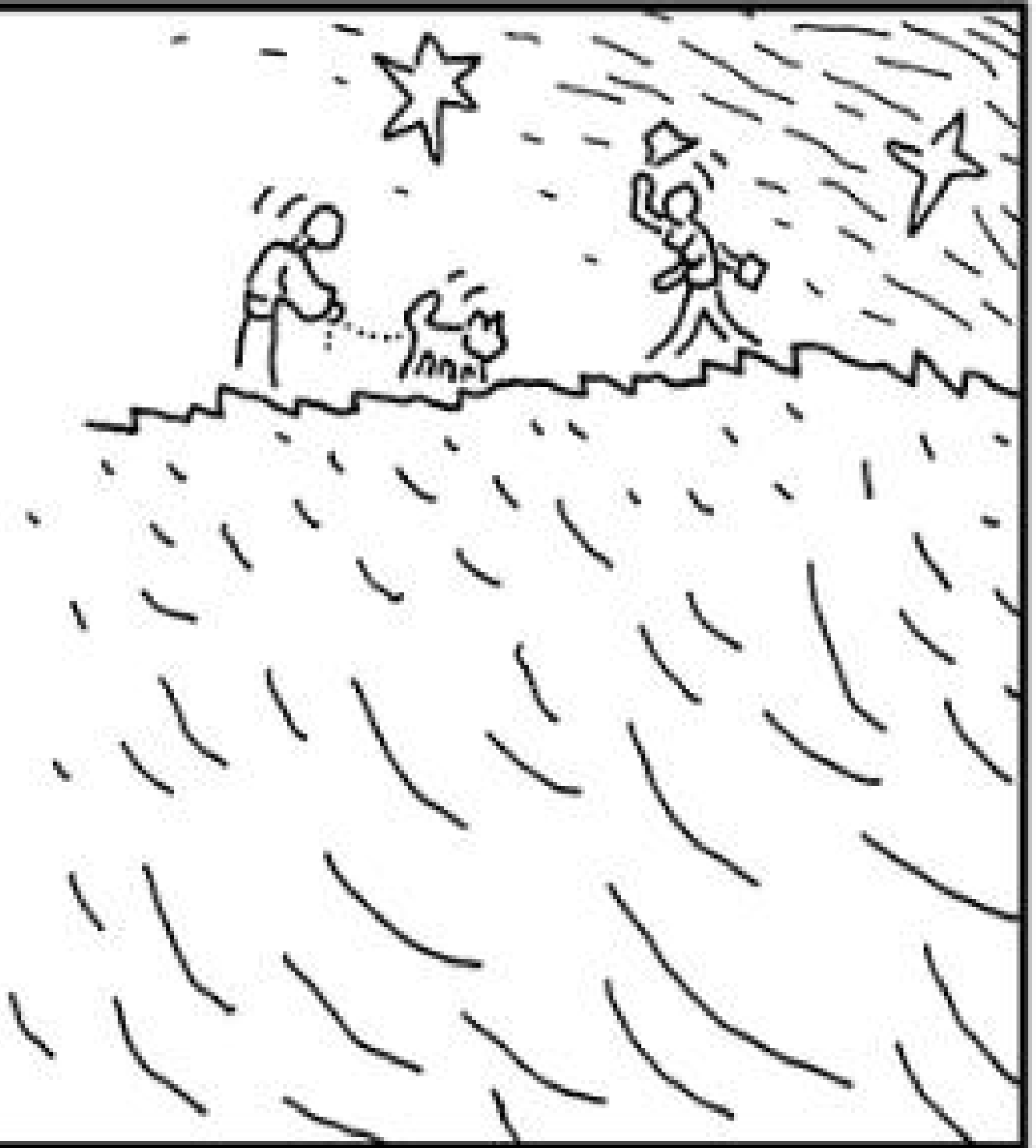


いつものアパートへ戻りたくなかったから、

遠回りの川沿いの土手を歩いた。



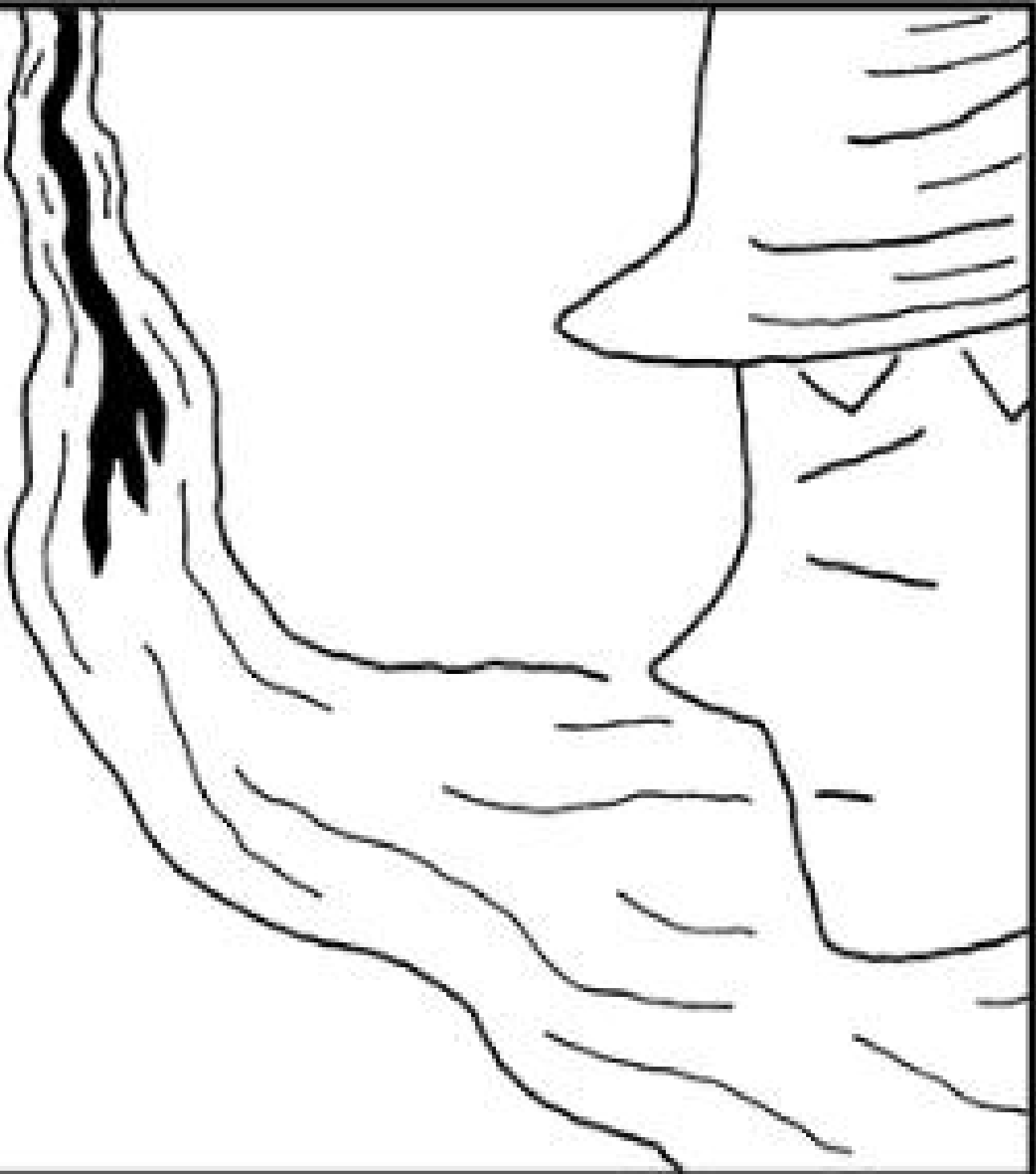
歩きながら



子供のころに
くらしした
土地の川を
思い出し
たりした。



ながくて黒い記憶の淀む川。



一等思い出したく
ないのに、

一等思い出す。





ごめんね

シロ・・・

元の所に

もどして

きなさいって

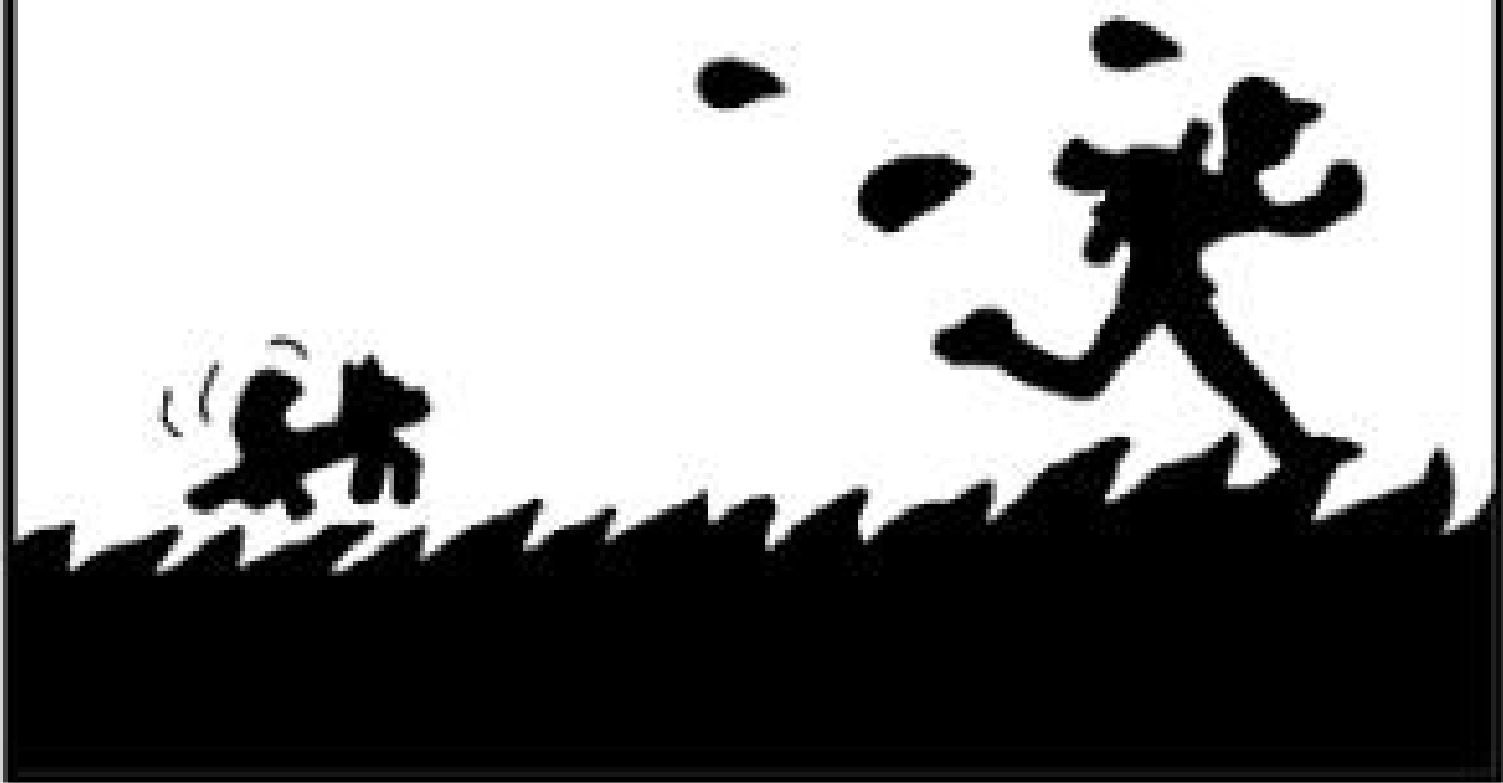
・・・

家は
ダメだって
・
・
・
いっしょに
いたかった
のに
・
・
・



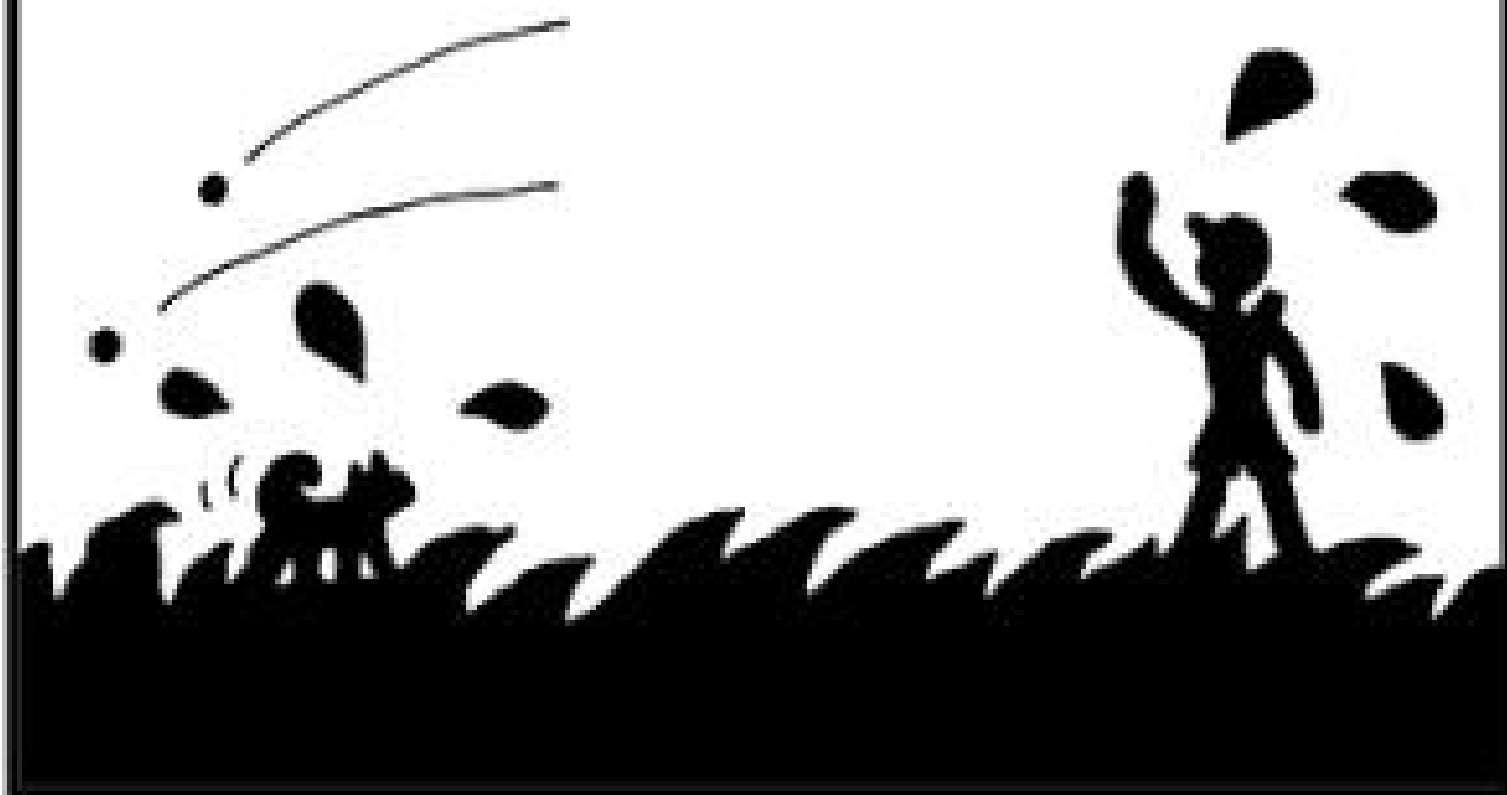
。□ッ

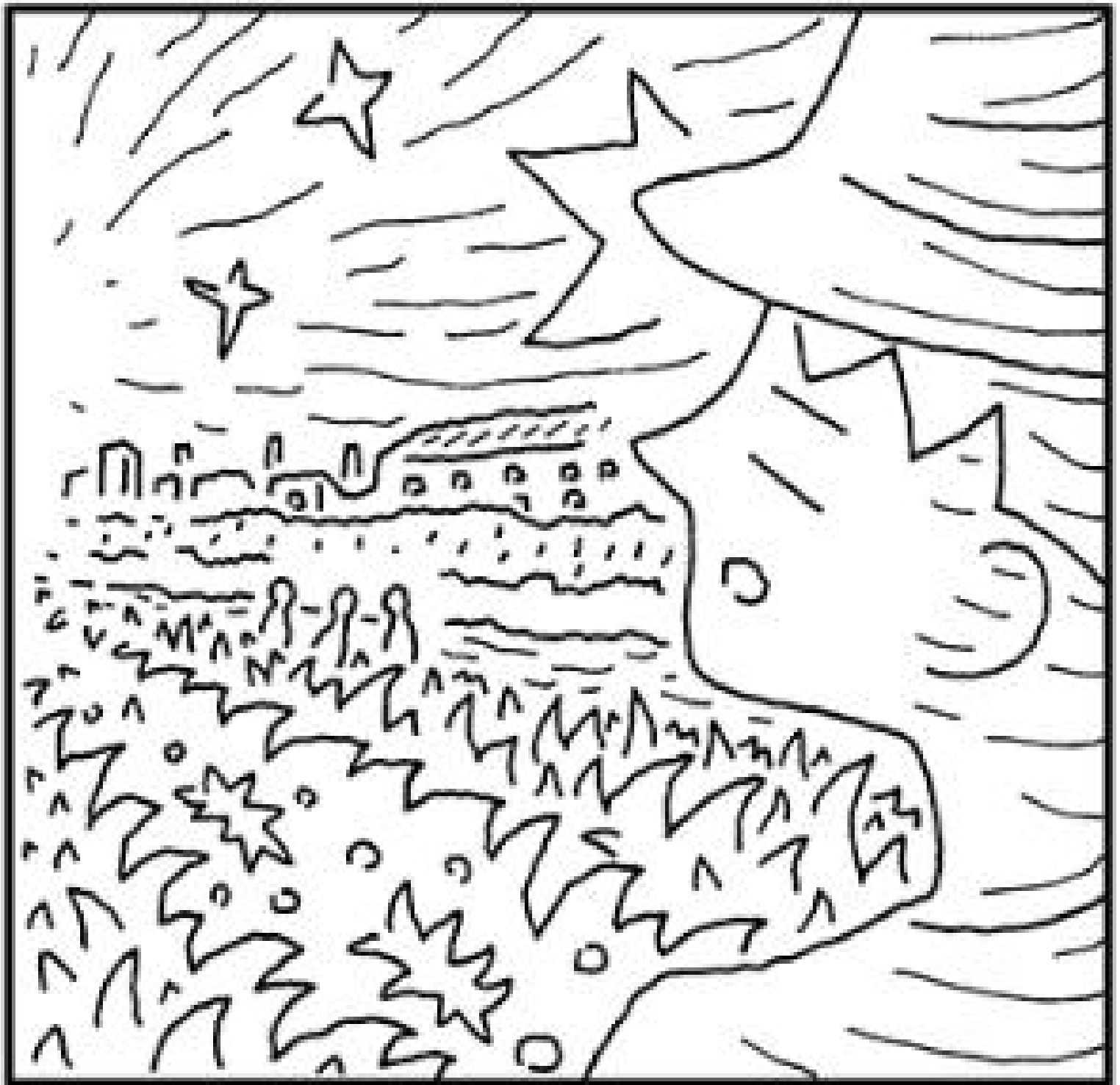
シロだなんて。



たった半日
だけのなまえ。

別れるために
棄てるために
つけたなまえ。

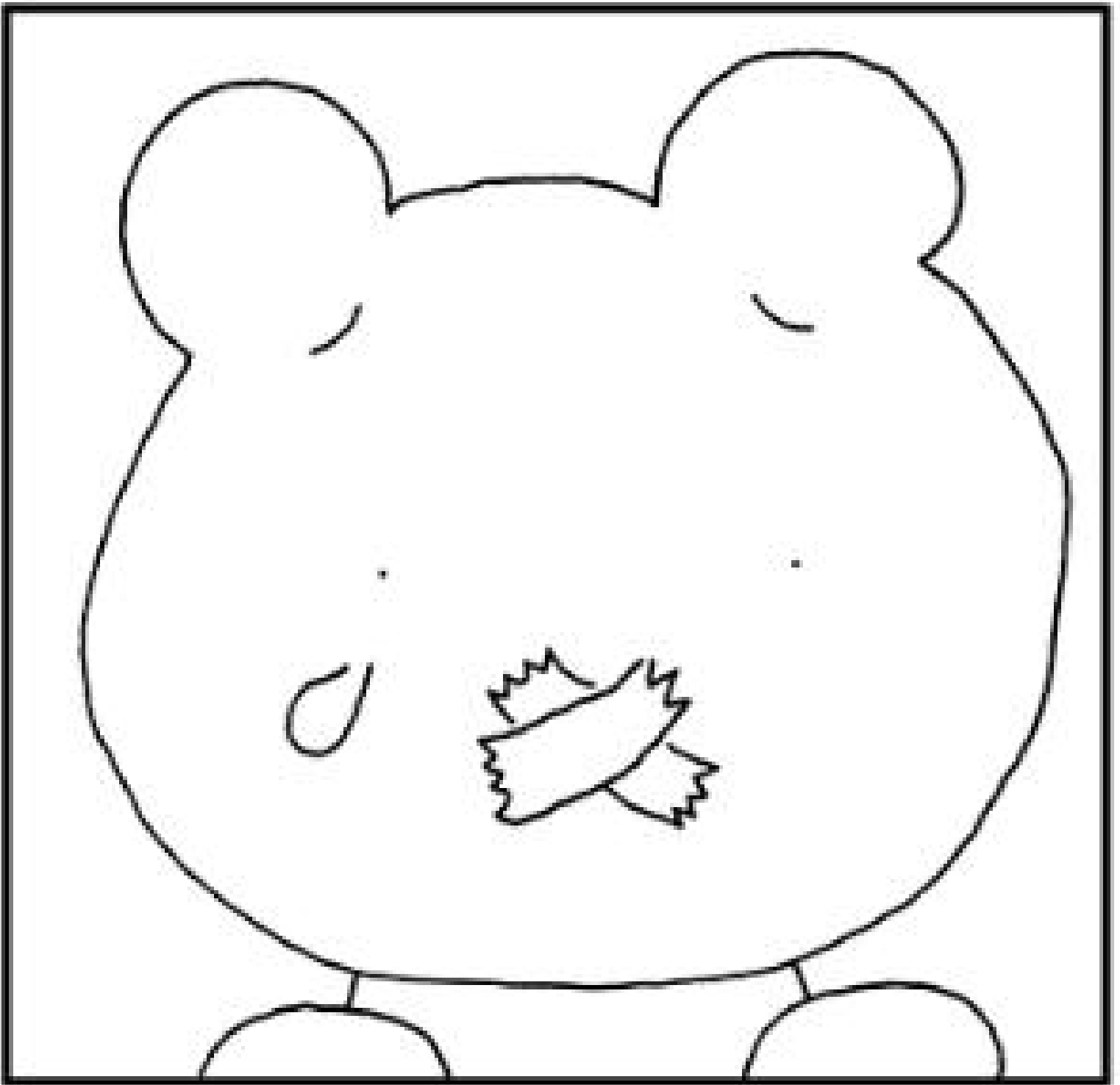












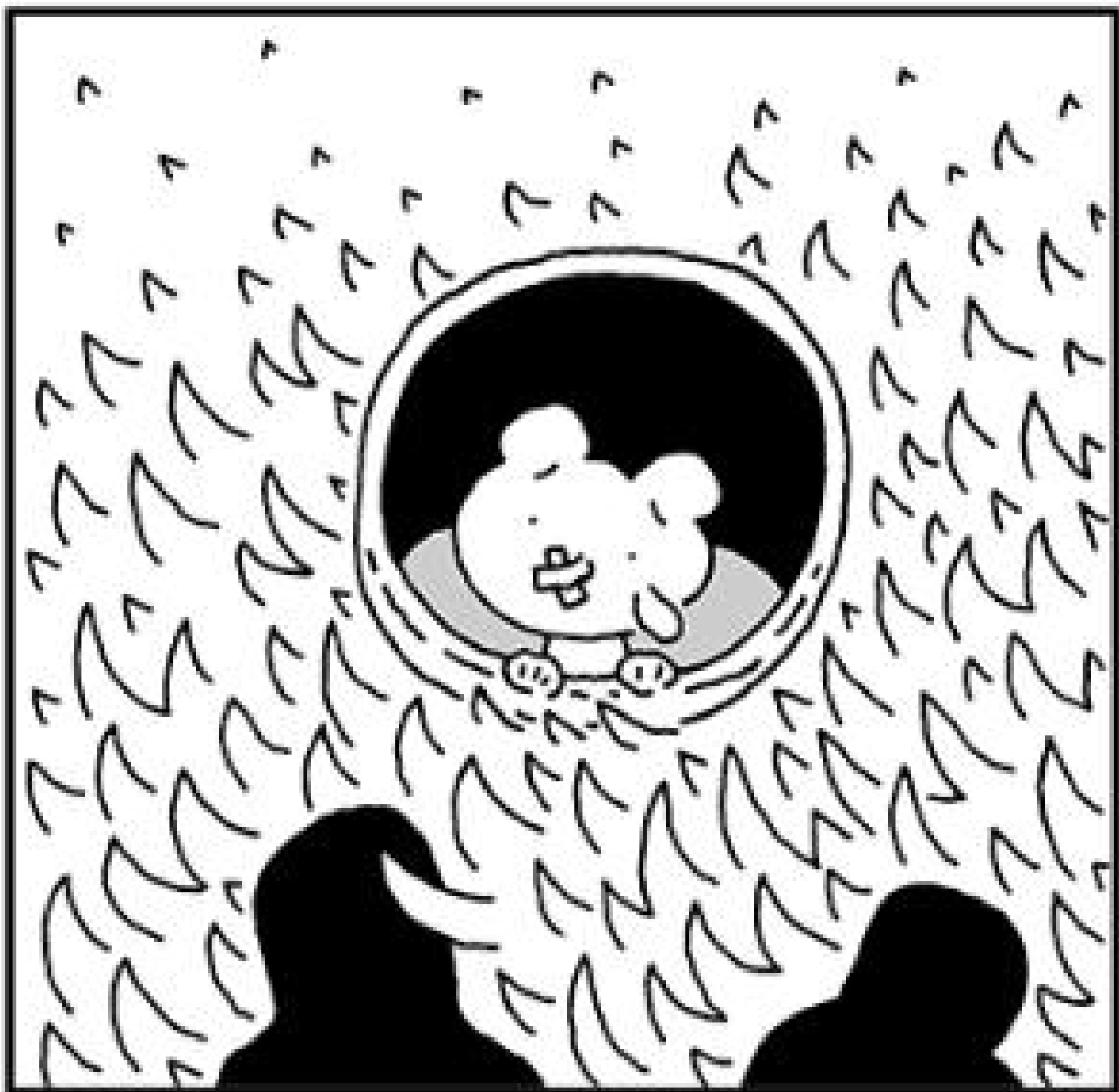


ひろった
んだけど
おかしい
んだ
こいつ
……
……
……



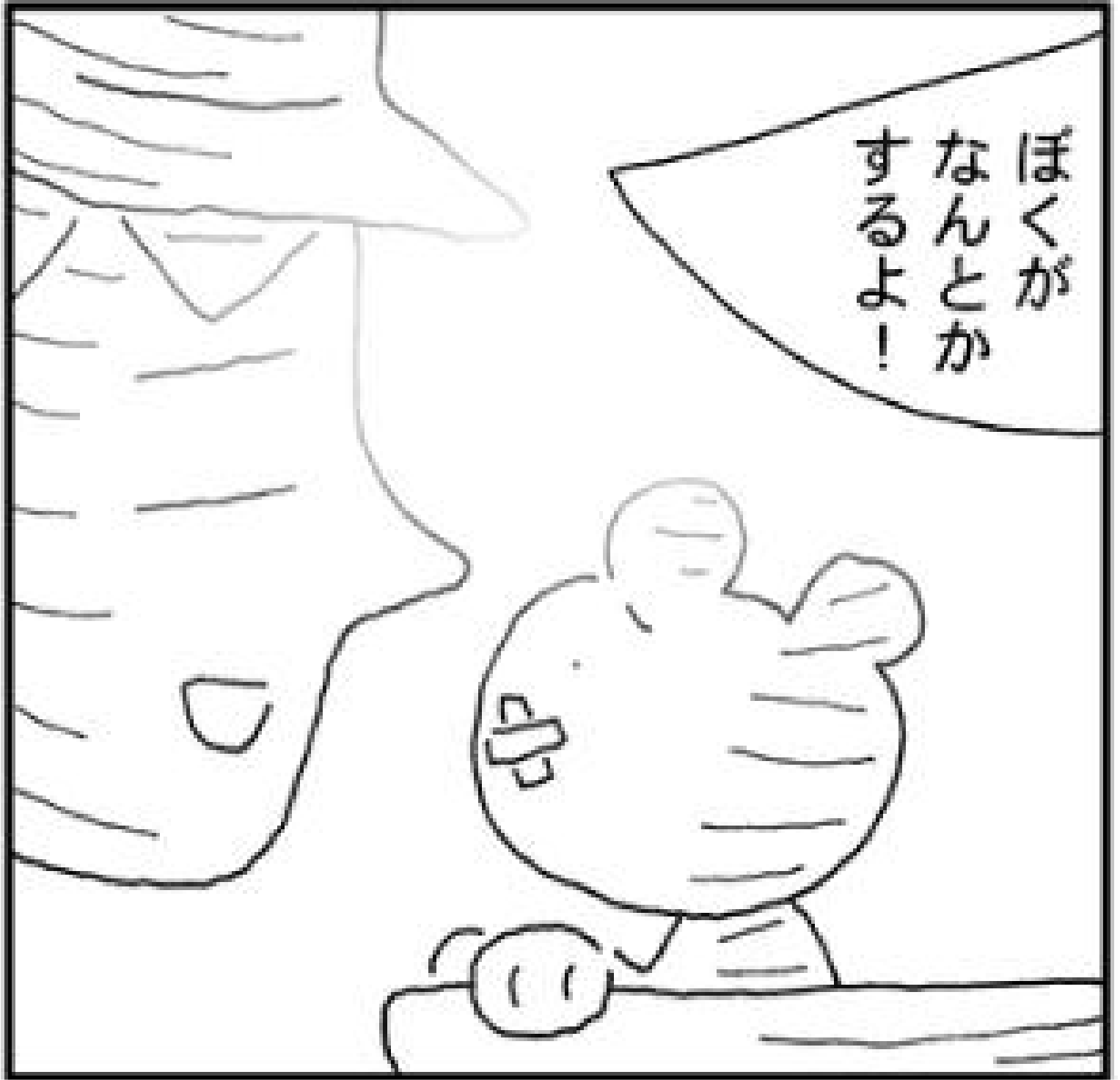
学校のうさぎさん
いっしょに
飼えないって
先生が・・・







ほくが
なんとか
するよ！



とっさに言ってしまった。
なんとかしなけばと思った。



なんとかかしたかった。



ぶしだい
ぶしだい



おはよう
おはよう



ただいまー



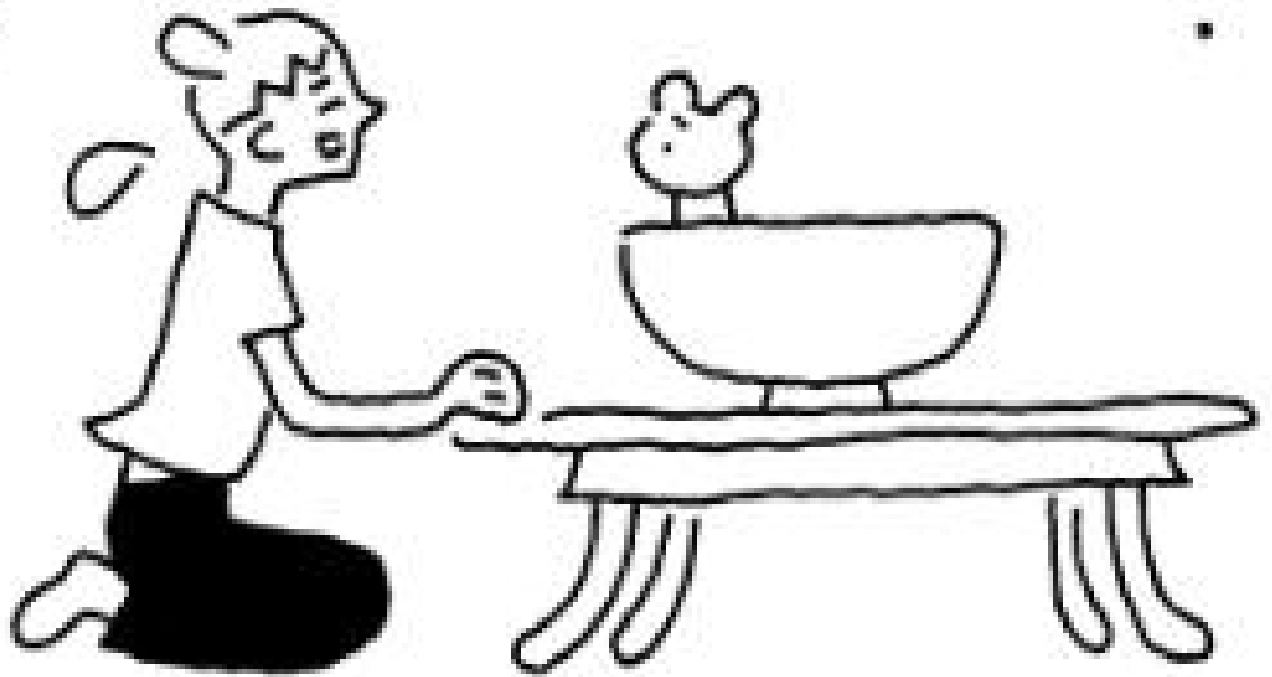
ユラユラも
ユラユラ

きょうから
ここが家だ
からね

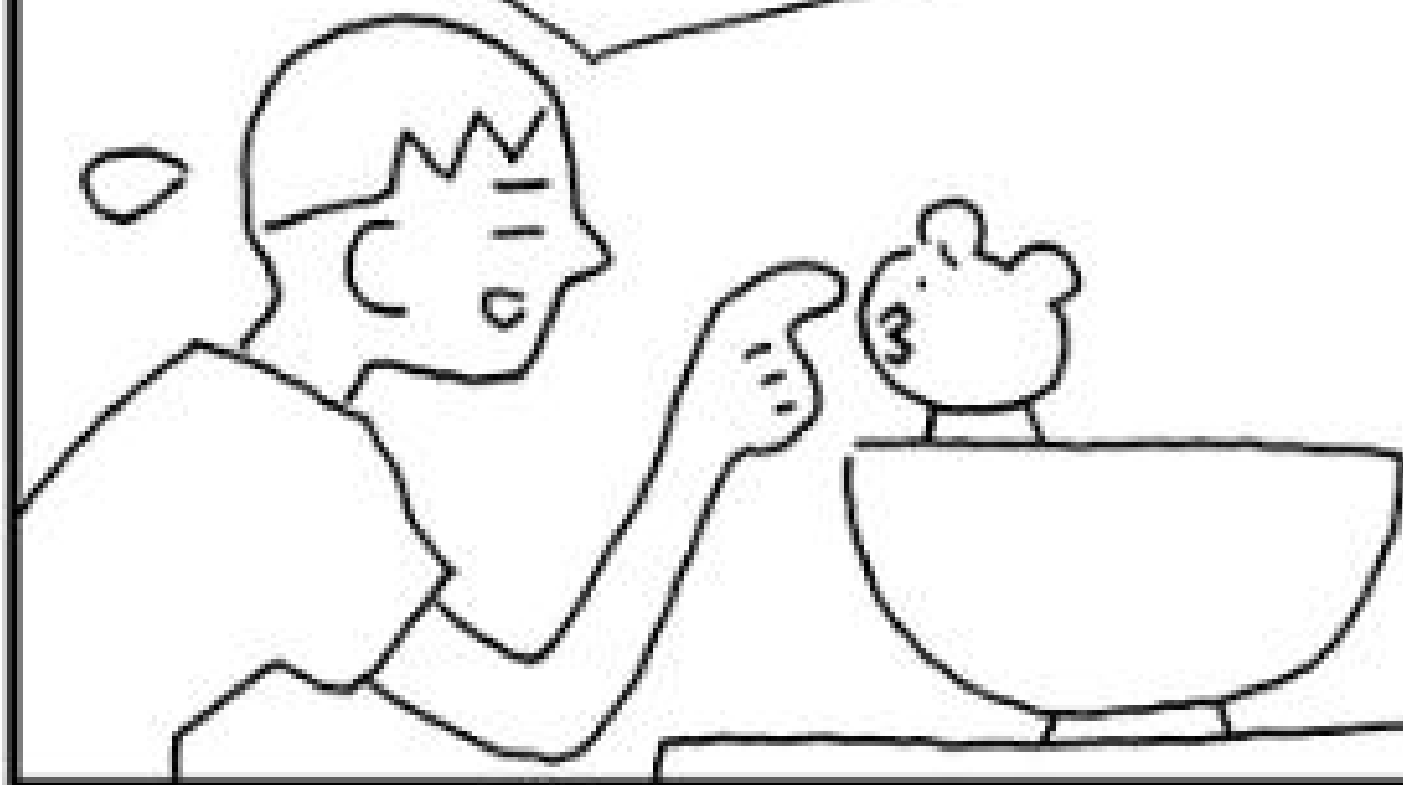


うーん・・・
あらためて
よくよく
見ても
わからない
なあ・・・

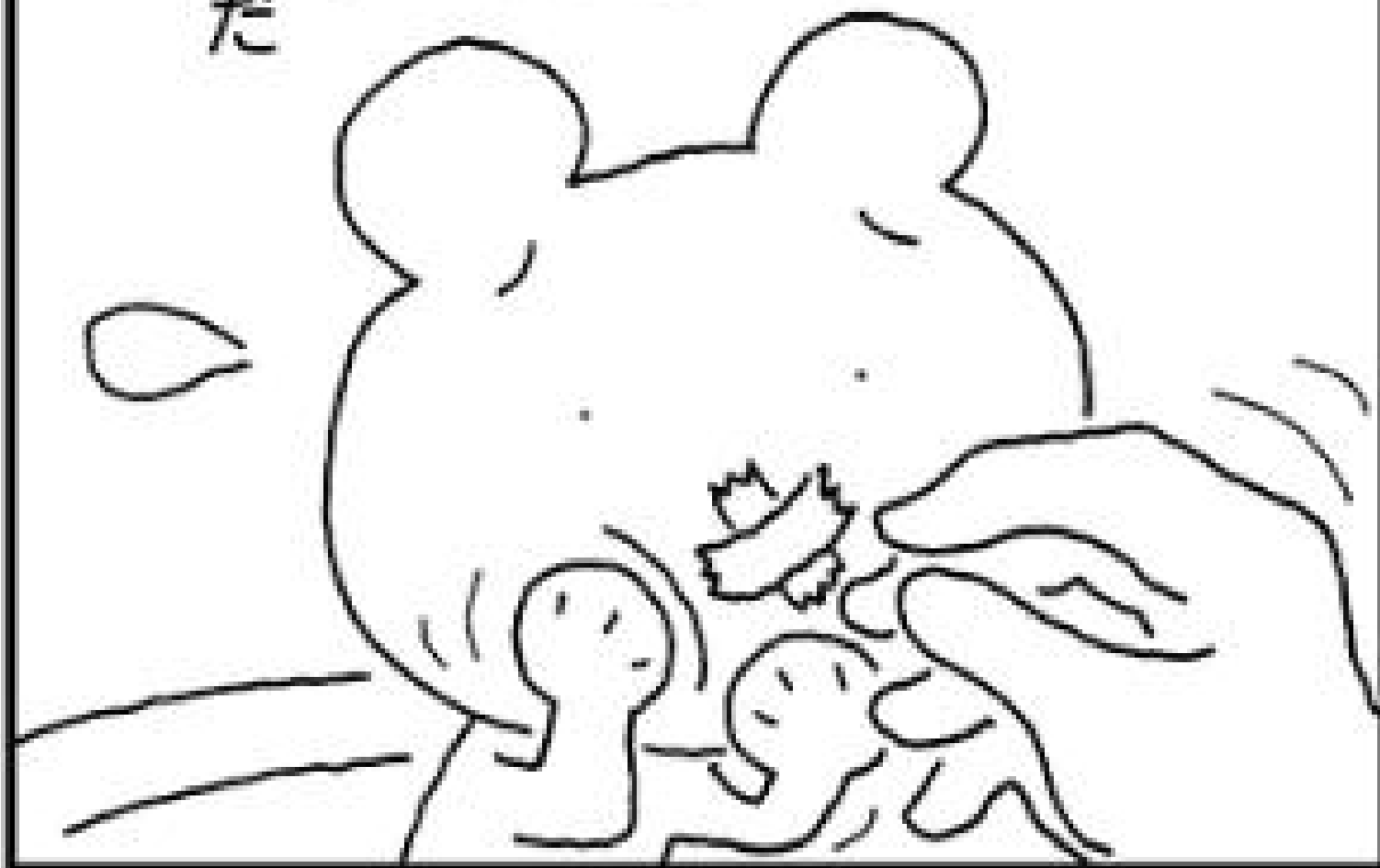
ネコでも
イヌでも
サルでも
クマでも
ないし・・・



まあ
なんだって
いいや！
とにかく
これから
よろしくね
その
パンンウロロ
とって
あげるよ



さつきの
小学生
たちが
ぜつたいに
はがしちや
だめだよと
言っていた
ものの
どう見ても
かわいそうだ













なななひ
んんん！
だだだひ
—



JUST

o

just

o



なんなん
なんたら？
いいつた？

だって
チユー
だもん



わっ
しゅ
たあ！



あ
あ
あ

ななな
なんで
しやぶ
たあ？

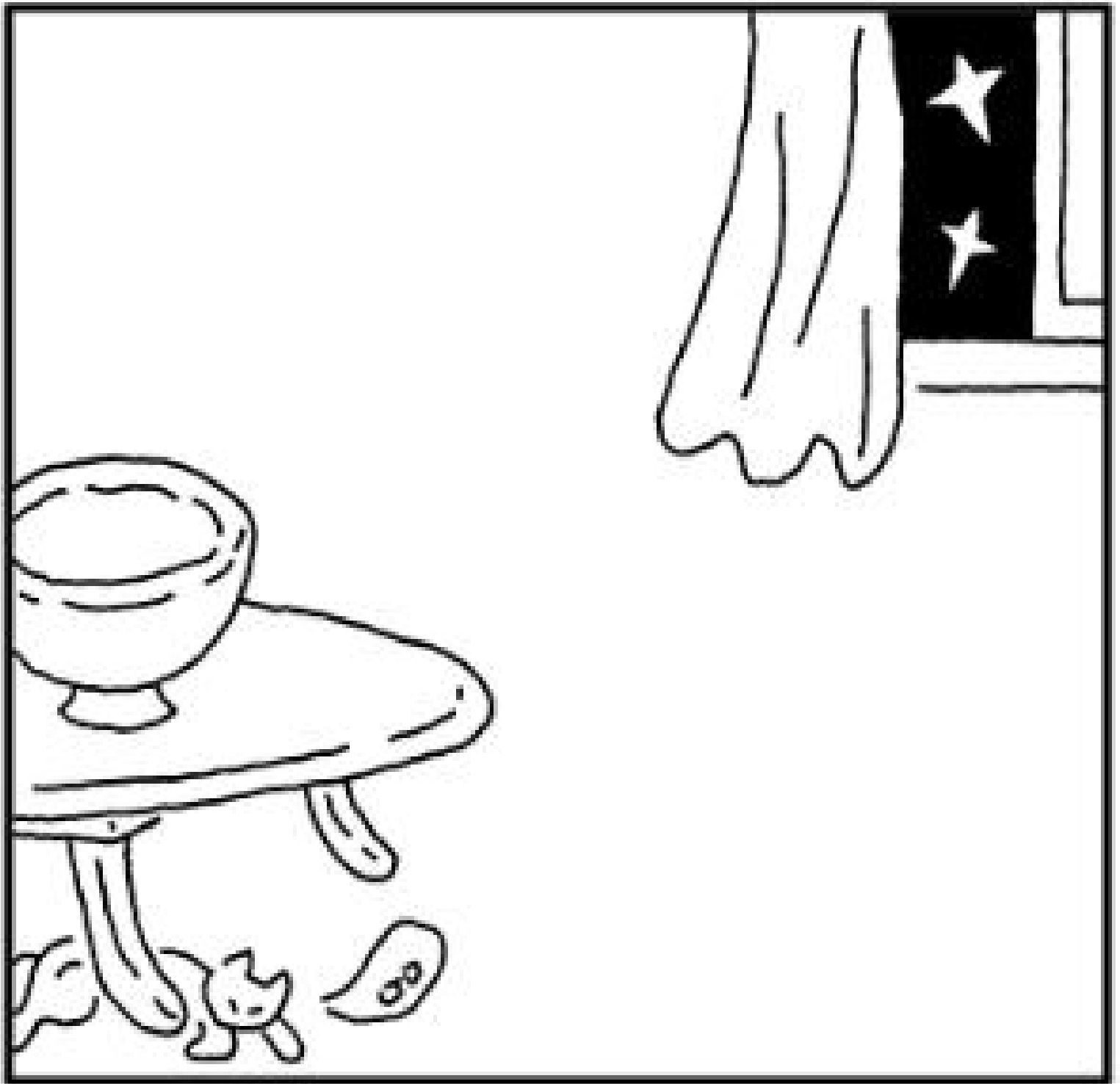


お ち ゃ ん



だ ち だ
も ュ っ
ん ー て

お





おちついてミノウエを
きいてみると、この
生きものは好きな相手を
探し求めて宇宙をさまよって
いるという。



サンプルは、ここまでです。
もし良ければ、商品を購入くだ
されば幸いです。

→商品のページを見る